

令和4年度第4回宝塚市パブリック・コメント審議会議事録

- 1 開催日 令和4年11月11日(金) 午前9時55分～12時10分
- 2 開催場所 特別会議室
- 3 出席者 委員8名、事務局4名、傍聴人0名
- 4 議事 ①令和3年度に実施したパブリック・コメント手続きの個別評価(案件No.9～12)について
②パブリック・コメント手続の運用状況評価について

○事務局 　　ただ今より、令和4年度第4回宝塚市パブリック・コメント審議会を開催する。本日の出席者は委員8名中8名出席で過半数となり審議会は成立。傍聴者はいない。

○会長 　　それでは議事に入る。本日はNo.9～12について評価する。まず、1つ目の案件であるNo.9「宝塚市みどりの基本計画(案)」について、各委員より評価をいただく。

○委員 　　全般的に読みやすいものであった。意見募集要項「みどりの基本計画(案)のポイント」は、市民に分かりやすく丁寧に作られていると感じた。この計画案は、全般的にカラー刷りとなっているが、費用的に市として問題はないのか。市は予算削減と言っているが、この点についてはどうか。

○会長 　　この点については、事務局はどうですか。

○事務局 　　原則として、庁内では白黒印刷をしている。カラー印刷はコスト高となる。カラー印刷は例外的な場合に、担当部署の判断で行っている。細かい決まりはない。パブコメとしては、カラー印刷を推奨していない。また、表紙についてもカラー印刷となると予算負担があり色紙上質紙の対応としている。予算的な余裕がある部署がカラー印刷を行っていると考えられる。

○会長 　　図面はカラー印刷の方が分かりやすい。予算的な余裕がある部署は、カラー印刷する傾向にあるのかもしれない。最終的には部署ごとにカラー印刷が適切かどうかを判断するという答えである。

○委員 　　計画の体系図は、全体を把握する点で評価できる。「みどり」という市民に広く関心があるテーマなので、読みやすさを感じた。前計画は「緑」であるが、今計画は「みどり」の表記となった。このことについて何かしらの説明があった方がよいのではないかと。

○会長 　　何か意図があったのかは、担当課に聞かなければわからないであろう。

- 委員 個人的には、この案件が評価した中で最も良かった。まず、概要版はイラストを使って効果的に作られている。説明も丁寧にされている。資料的には、カラー刷りはやむを得なかったのであろう。他の計画との関連、位置付けも説明されている。資料編も充実している。より多くの情報提供をしようとする姿勢が評価できる。PDCAの時期等も明記されている。非常によくできた案件と思う。
- 委員 概要版・本編は非常に見やすく作られており、体系図も見やすいものである。資料編は、前計画について簡潔にまとめられている。進捗状況において「中止」、「廃止」の理由が書かれていない。辞めた理由などを書いた方が良い。新たな取組は、進捗状況の方向をアイコン化して読み手に分かりやすく表示した方が良いのではないかな。
- 会長 「アイコン」というのはマークなどということなのか。
- 委員 そうである。
- 委員 カラー刷りは非常に見やすい。地図のカラー印刷は特に見やすいが、カラー刷りする部分とする必要がない部分を区別した方が好ましい。生物多様性に係る特定地域についての言及がなされていない。それは管轄する部署が異なるからなのか、この計画はこうした他の部署との連携ができていないのか。市におけるみどりの全体像ではないのでは。
- 会長 他部局でしている施策が、連携の点で計画から抜け落ちている部分があるのではということか。
- 委員 キャッチフレーズは、歯切れがいい。概要版の内容は分かりやすい。概要版の地域別計画を大きくすればよい。この計画は読みやすかった。地図・グラフの利用は分かりやすい。地域別状況も記載されている。イラスト等を用いて具体的に説明されている。目標も明確に示されている。まち協との連携、市民を巻き込んでやっていく姿勢が見受けられる。このような計画の構成をすると、多くの意見が市民からもらえるのではないかな。
- 委員 募集要項など情報発信に努めようという姿勢が見受けられる。一覧性に優れ、文字情報に頼っていない点が評価できる。概要版、計画案が分かりやすいので、多くの市民から意見をもらう結果となったのではないかな。市民からの意見に対して市はかみ合った応答となっている。修正についても適切になっている。こうした模範となるパブコメについて、庁内で参照でき、参考例とするような取り組みを検討していけばいいのではないかな。パブリック・コメントをより良いものとしようとするインセンティブとなるのではないかな。
- 会長 ①図表などカラー刷りのメリットを生かしたペーパーづくりとなっ

ている。レイアウトもよく、また文字情報も疎かになっていない。②市民の意見に対する応答も丁寧になされている。③前計画と今計画との関係も説明されている。

○会長

評価について修正等はあるか。

評価は、Aでよろしいか。→了承

この良くできた事例について、これからパブコメをする部署に対して参考・活用できる体制づくりも検討してはどうか、という意見は後日議論する。

○会長

続いてNo.10「宝塚市都市計画マスタープラン（案）宝塚市立地適正化計画（案）」について、各委員から意見を伺う。

○委員

カラー刷りの資料づくりは、市民にとって見やすいものとなっている。計画の大きさからなのか、プランの柱をぼやかしてしまっているのか。市民からの居住地問題等に対する意見に対して、計画の中に取り組めるものがあつたのではないか。パブリック・コメントは、市民の意見を反映した修正が通りにくいと市民が悟ると、市民は意見を出すことを諦めてしまうのではないか。修正につなげる努力をして欲しい。

○委員

地図を多用し分かりやすく構成され、評価できる。市民からいただいた意見はハイレベルのものである。市の応答がざらりとしたものとなっている。市民からの意見が計画案に反映されないのは、パブコメをする上での時間的制約のせいなのか。市民の意見を計画案等に反映できる仕組みづくりが必要ではないか。正しい認識をもって市民に意見をいただくようにしなければならない。

○委員

非常に読みやすいが、色遣いについてももう少し工夫して欲しい。この計画案は、現状維持の計画と感じた。将来像を示せていない。

○委員

上位計画、下位計画との関係で、下位計画に対する意見にどの部署が応答するのか、意見の内容を担当部署に還元するのか。適当な扱いをしているような回答として、市民に受け止められるのではないか。

○委員

良くまとめられている計画であつた。イラストの有効な活用、文字の大きさも大きい。計画案の内容が分かりやすい印象である。しかし、市民からの意見でPDCAができていない、との指摘が複数ある。これを受けて本編を修正しないのであれば、パブコメをする意味がないのではないか。

○委員

市が作成する種々の施策・計画の全体を把握している部署がないのではないか。相互の整合性は図られているが、市としてこれらの一覧表を作れないのか。

○委員

分かりやすい内容である。市民の意見に対して市の回答はていねい

であるが、紋切り型となっている。市民の意見を計画案に入れ込むことが難しいのではないかと。評価シートで「改正」とあるが、「改訂」の違いはあるのか。シートを変更してはどうか。

○会長 前計画の記載とあるが、評価シートにその旨の記載がされていないということですね。

○委員 キャッチフレーズについて目を引く構成となっている。計画案の位置づけ、関係性もしっかり記載されているが、市の応答は一辺倒である。「担当課と調整していく」など前向きな応答が欲しい。

○会長 計画は、良くまとめられている。特に概要版はそうだ。①市民の意見としてレベルの高いものが提出されている。これに応じて市民としては市の回答もレベルの高い回答を期待しているだろうが、いささか形式的な回答となっている。市の応答がこのようなものであれば、パブコメの制度が機能しなくなるのではないかと。②市民の意見に係る計画案の修正が通りにくいのはどうしてなのか。時間的余裕がないのか、それとも計画間の整合性や他部局との連携等によって踏み込めないのか。担当課に依頼するなど修正に向けた努力が必要ではないかと。さまざまな点について余裕がないのではないかと。計画の作り方で、もっと早い段階でパブコメとは別の市民参加の手続きを複数回行い、市民意見を取り込む機会を設ける方が良いのか、検討してはどうか。パブコメに負担をかけるのではなく、別のプロセスを設けて市民の意見を計画に反映させることが一つの解決策となるのではないかと。

○委員 この審議会においても傍聴者がいない。公聴会制度を設けるなどを検討しては。ただし、時間・コストの点で負担が大きい。

○会長 別の市民参加をしたことを計画過程の説明を入れるなどを検討してはどうか。公聴会ではなく、意見交換会などでもいいのではないかと。こうした良い意見をパブコメでしか出せない状況を変える方がいいのではないかと。

○委員 市議会議員の委員参加は珍しい。審議委員の選定について検討してはどうか。(公平性など)

○会長 都市計画審議会の委員構成については法令で定められているところだ。公募委員の選定に決まりがあるのか。一定の手続きがあるのではないかと。

○会長 評価について修正等がありますか。

評価はB評価でよろしいか。→了承

○会長 No.11「第11次宝塚市交通安全計画(案)」について評価を始める。

○委員 概要版がこれまで評価してきた案件とは異なる。概要版は、A4版で

細かい字でつくられていて、何とかならなかったのか。計画案も全般的に字が小さく読みにくい印象を受けた。また、前計画の検証が必要ではないか。

○委員

形式としてA4版1枚の概要版にまとめられているのは良い。計画案7頁の目標の記載について、「減少」と表記しているが、「○%減」など具体的数値を表記して欲しかった。

○委員

「死者数」なので、具体的数値を出しづらかったのではないか。

○委員

概要版は何か会議のレジユメのようで、この計画案の概要を市民に知ってもらうものではない、もう少し工夫が欲しかった。「交通安全」という身近なテーマであるのに意見提出件数が極めて少ないのは、市民が意見を出し辛いことを物語っているのではないか。市が今までどのような取り組みを行ってきたか、これからどのような取り組みを行っていくのかという計画案なのに、これらの内容が触れられていない。まるで前計画の看板だけを付け替えて「第11次」にしたような内容である。第11次の特徴が出ていない。身近な内容なので、市民のいろいろな意見が出てくるような形のパブコメの資料作りをしてほしい。

○委員

評価シートについて、担当課と事務局の「改正」の認識がちがう。前計画とあまり変わっていないのではないか。キャッチコピーにインパクトがない。懇話会の委員数が4名だけで構成されていいのか。交通問題は重要であることはわかるが、市民に伝わるような内容にしてほしい。他市と比較をしたり、キャンペーンをする等がなかったことが意見提出件数の少なさに繋がったのだろう。作成にもう少し工夫をして欲しかった。予算が少ないためなのか。

○委員

概要版については、これまでの意見と同様である。キャッチコピーと意見募集要項の「SDGs」での記載内容に齟齬が生じている。本文に「SDGs」の内容が全く出てこない。アンバランスさを感じる。交通事故に対する分析がないので、その対策が出てこない内容となっている。重点的に、具体的な内容がないと、粗雑なものとなっているようである。

○委員

やはり概要版が分かりにくい。社内会議の資料のような体裁で、図表や数値を用いて標記した方が良かったのではないか。交通事故など具体的な内容を記載すべきである。意見提出件数が少なすぎる。もっと意見を出してもらえるような資料作りをすべきではないか。

○委員

概要版を含めてこれまでの委員と同様の意見である。市が行う政策に対して市民の熱意が少ないのか。市の応答の中で警察との協働などの意見や市の取組に対する意見があってもいいのではないか。このキャッチコピーは、交通事故にあった市民にとってとてもセンシティブ

なものである。「事故」を「安全」に置き換えするなど工夫した方が良かった。

○会長

①この計画が具体的な政策と連動していない。この計画に基づいて具体的な施策・事業等の取り組みをしようとしていないから、一体この計画の重要性・意義はどこにあるのかが分からない。②第1次を作成し当時とこの第11次の作成時とでは交通安全事情が全く様変わりしている。社会状況が変わっているにもかかわらず、もっと工夫すべきではなかったか。交通安全の重点課題に対しても踏み込んで欲しかった。③文書の作り方についても工夫が必要である。各次の交通事情には触れているが、分析がないので、その対策が記載されていない。とおり一辺倒な体裁になっている。

○会長

評価を変更される方はいるか。

評価Bでよろしいか。→了承

○会長

No.12「宝塚市公共施設等総合管理計画【改訂版】(案)」について、評価を始める。

○委員

概要版がA3版で作られていて、少し文字が多い。計画の資料編で示されている各施設の内容が列挙されているが、分析とインプリケーションがエビデンスとしては不十分であった。

○会長

最後のところは、数値あるいは図表が多いがそれが何を意味しているのか、本文で記述されていないということですね。

○委員

いろいろな数値、データを上げているが、市はこれまで施設を放置してきたことが原因である旨の説明をしていない。これからこうしていくという取組内容が詳細に説明されていない。図表については専門家ならわかると思うが、市民には何を意味するものなのか分かりにくい内容である。これは、提出意見数にも影響している。キャッチコピーは、こうした点を考慮して工夫した方が良かった。

○委員

概要版は一見分かりやすいが、図表については専門的すぎる。具体的な問題意識を持っている市民でないと分かりにくい。また、方針で「民間活力の導入」とあるが、地域の負担が増した事例を紹介する。

○委員

意見募集に変更点が記載されていたのは評価できる。概要版は主にデータ更新であるが、前回計画の検証も記載して欲しかった。「財産区分」に関する事例について紹介する。(財政的問題)

○委員

概要版はA3版1枚で、文字が大きく分かりやすくまとめられている。また、PDCAに係る内容が明記されていることは評価できる。意見No.1での市の応答内容について計画本編に記載がない。

○事務局

最後のご指摘については、本編32頁に記載されている。「優先的に」

は、別枠での予算措置がされているという意味です。

○会長

市がいう「優先的に」は、通常の予算とは別に公共施設に係る費用について予算措置されているということを示している。一応記載はされているが、市民としてはその辺りの説明をしてもらわなければわからない。ていねいな表現が必要であったのではないか。

○委員

概要版についてはよい。市の応答を見ていると、市の公共施設は阪神間で遅れていることが分かる。「平均的」と計画に記載されているが、逆に開き直ってそのあたりのことを明らかにしてもよかったのではないか。

○委員

市の公共施設の変更点一覧は、分かりやすい。意見募集要項の「意見の提出方法」で、下線を引くだけで見やすくなっている。この点は工夫されている。キャッチコピーは計画案本編の内容と一致しているのか。計画案と資料編と分けて作ることで、より分かりやすかったのではないか。

○会長

①概要版について、同じスタイルであっても全く違う印象を受ける。②計画の内容上、図表や数値は用いらなくてはならないけれども、これらがどういうことを示しているのか、そこからどういうことが導かれるのかを言及、分析した記載がない。そのため市民からするとどのように読んでいけばよいのか戸惑うのではないか。しっかりとした分析に基づく内容と記述とはいえず、市民からするといささか不親切なものととなる。③概要版は、前計画との比較に係る変更点等の記載等から評価できる。時点修正はできているが、現時点でどうなっているのかが気になるところである。なお、市民サービスに直結しない「財政」、「公共施設」などをパブコメに出すときに、どういう風な形にするべきなのか、あるいは計画に係る数値、見通しなども市内部に係る話でもあり、こうした問題点について、どのように市民の意見を聴いていくべきなのか非常に難しいところだろう。評価を行うが、修正等はあるか。

評価Bとなる→了承

○委員

各案件についてこれまで評価してきたが、これで確定なのか。次回で評価基準について議論をして修正等はあるのか。

○事務局

現時点の評価は暫定である。これまでの評価の中で後の議論に譲った内容を受けて評価を確定していくものである。決められたものもないので、審議会として最終的に決めてもらうこととなる。

○会長

次回の議論を受けた結果、個々の評価を修正するのではなく、基準を見直し改めて評価をしたい。パブコメの運用状況について事務局から報告がある。

- 事務局 パブコメの運用状況について、令和3年度都市経営会議の議題の中でパブコメの対象となる市の重要施策等についてパブコメをしていないものはないことを報告する。
- 会長 今回の審議会ですらに議論する内容及び委員の皆さんの評価を参考に答申書を作成するが、次回に議論・意見交換したいと思う内容を事務局に申出ていただくようお願いする。個別評価については、次回で確定していく。答申案は、私と大村委員とで作成する。
- 事務局 今回は、11月25日（金）午前11時、場所はこの特別会議室で行う。答申書の手交は、12月26日（月）午前10時から行う。委員の皆さんは、ご予定ください。
- 会長 以上をもって本日の審議は終了する。